

石狩川振興財団が札幌開発建設部から委託を受けて行った事業について紹介します。  
札幌開発建設部では調査船「弁天丸」を活用して、「石狩川流域の水害や治水事業の歴史」、「流域の風土」、「地域の水文化」、「周辺の河川環境」などの学習活動を通じて、環境保全や防災に対する意識を高めていただくための支援活動を行っています。

平成29年度 石狩川下流河川総合学習支援業務  
調査船等を活用した学習支援活動 第8回



◇平成29年8月23日（水） 9:00～11:20  
◇参加者 石狩市立花川小学校 4年生  
児童 51名 教諭 3名

【学習コース】 弁天丸茨戸川上流コース（茨戸川艇庫船着き場→花畔大橋→水生植物群落 往復）

【学習行程】

時刻	学習内容		
	1班	2班	3班
9:00～9:05	集合、挨拶、トイレ		
9:05～9:45	弁天丸乗船	植物観察	川の仕組み学習
移動（5分）			
9:50～10:30	川の仕組み学習	弁天丸乗船	植物観察
移動（5分）			
10:35～11:15	植物観察	川の仕組み学習	弁天丸乗船
11:15～11:20	集合、挨拶、トイレ		

【学習内容】

◇弁天丸

- 船上から川や鳥、植物などの自然を観察
- カードを使って川の近郊にある施設探しとその役割を学習

◇植物観察

- 川の近くに生息する植物を観察
- 笹舟つくりと笹舟流し

【参加者からのアンケート】

◇弁天丸で行った茨戸川や石狩川で、あなたが発見したものは何ですか

- ・鳥の巣、鳥を見つけた（カモ、アオサギ）
- ・ひしを見つけた。タンポポににているブタナも見つけた。
- ・魚がはねたあと

◇体験学習に参加して、もっと知りたいと思ったことはなんですか

- ・いろいろな魚や鳥の種類を知りたい
- ・弁天丸のシステムやどんなことができるのか知りたい
- ・どこの山から水がきているのか

◇茨戸川や石狩川に次に来たとき、やってみたいと思うことは何ですか

- つりをしてみたい
- 弁天丸の運転をしてみたい
- 茨戸川の広さを調べたい

【実施状況写真】



安全に船に乗るために



魚がいる場所もチェック



植物の名前の由来について



自分で作った筏舟を流します



大雨が降ったら・・・



洪水を防ぐために